

学校関係者評価書

学校名 鳥栖市立麓小学校
校長 西川 哲也

1 学校関係者評価実施状況

(1) 学校関係者評価実施日 令和2年3月2日(月)

(2) 評価者 学校評議員5名

(3) 資料(評価の参考とした資料)

- ・学校評価アンケート結果(児童、保護者、教師)
- ・学校評価結果
- ・学校日より
- ・学力向上対策シート
- ・学校を参観して 等

2 評価

(1) 学校運営について(4 できた 3 おおむねできた 2 あまりできなかった 1 できなかった)

	評価の観点	A	B	C	D	E	平均	全平均
①	目標の妥当性及び達成状況	4	4	4	3	4	3.8	3.8
②	学校の取組状況の適切さ及び自己評価結果の妥当性	4	4	4	3	4	3.8	
③	改善方法の適切さ	4	4	4	3	4	3.8	

① 目標の妥当性及び達成状況

- ・目標は適切であり、目標は概ね達成できている。

② 学校の取組状況の適切さ及び自己評価結果の妥当性

- ・概ね達成できている。
- ・学校内での危機管理体制は訓練等で達成されているが、更なる安全を期していくべきである。
- ・働き方改革で教師の残業時間を減らす努力・工夫をしなければならない。
- ・宿題はもちろん、自学自習や読書習慣を身に付ける指導を望む。

③ 改善方策の適切さ

- ・適切である。鳥栖西スタイル「三訓＝あいさつ、時間、清掃」一層の充実を要望する。
- ・全職員での共通理解を図りながら、新しい教育内容や業務改善を願う。

④ 学校運営に関して、その他の意見

- ・サービス残業を含む時間外勤務の問題が話題になっているが、子どもの教育のためにある程度仕方ないところもあると思うが、働きやすい職場、無理のない職場を目指して頑張してほしい。
- ・毎月の学校便り「麓っ子」のプリント、ありがとうございます。

(2) 教育活動について (4 できた 3 おおむねできた 2 あまりできなかった 1 できなかった)

	評価の観点	A	B	C	D	E	平均	全平均
①	目標の妥当性及び達成状況	4	4	4	3	4	3.8	3.8
②	学校の取組状況の適切さ及び自己評価結果の妥当性	4	4	4	3	4	3.8	
③	改善方法の適切さ	4	4	4	3	4	3.8	

①目標の妥当性及び達成状況

- ・目標は妥当であり、達成状況は良好である。
- ・ふるさと麓っ子の育成に感謝する。目標は妥当であり、達成できている。

②学校の取組状況の適切さ及び自己評価結果の妥当性

- ・評価結果は概ね妥当である。
- ・故郷を愛し、人と自然のふれあう体験学習、ゲストティーチャー、ボランティアの読み聞かせによる読書の習慣化など目標を上回る向上が見られる。
- ・「学び」「心」「体」のそれぞれの目標に向かったの結果は成果と言えるものあり、課題は適切だと思う。
- ・自己評価結果からも地域との繋がりを大切にしている、とても良い環境で教育活動ができていると思う。
- ・無言掃除の意味をもっと説明してほしい。
- ・やさしく、かしこく、たくましく生きる麓っ子の育成に感謝している、

③改善方策の適切さ

- ・改善方策は適切であると言える。
- ・これらの方策やアンケート結果について、家庭にフィードバックできるものは積極的に広報してほしい。
- ・ノーゲーム・ノーテレビデーの月に1回のみならず、複数回に増やしてどうか。
- ・「早寝、早起き、朝ご飯」に加え歯磨きの習慣をもっとしっかり身に付ける指導を願う。

④教育活動に関してその他の意見

- ・来年度からの導入される英語教育の在り方及び指導法を課題として取り組んでほしい。
- ・教科「日本語」や新しく導入される「外国語」、各教科の更なる習得・向上を期待する。

3 その他学校に対する意見や提言

- ・先生たちの子どもに寄り添った指導が良い。
- ・共働きが増え、子どもを見守る目が減っているが、地域の方や先生たちに、これからはしっかりと見ていただきたいと思う。
- ・避難所運営、防災対策、救命講習など先生たちもこれから起こるかもしれない災害に備えていただきたい。
- ・西川校長の「チームワーク・フットワーク・ネットワーク」の学校づくりに共感するとともに更なる推進を願う。